

# 交付対象事業の概要

## 1. 事業名

「自然といのちを大切に作る地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

## 2. 事業計画期間

令和5年度から令和7年度まで（3か年間）

※但し、事業計画期間の事業年度ごとに事業計画を作成し交付金を申請

## 3. 事業費（概算・国申請時の見込額）／令和5年度

総事業費（概算・国申請時の見込額） **80,738千円**

＜財源内訳＞ 国費50% 残りの地方負担額については交付税措置

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ・横展開型）	40,369千円
地方（延岡市）負担額 / 交付税措置	40,369千円

※事業計画期間（R5～7年度）の総事業費（申請時の概算額）：約246,402千円

＜各事業ごとの内訳＞

里山塾・鳥獣害対策事業	42,836千円
ロボット（農地の大小に関わらず市内各地で利用可能なもの）を活用した稲作支援事業	36,000千円
移住定住促進事業	1,902千円

※各事業の金額や内訳については、上記の総事業費を上限として変更があり得ます。

## 4. 事業推進主体

（仮）延岡地方創生推進協議会

【構成団体】ファーマーサポート北海道、農研機構、北海道大学、東北芸術工科大学、北海道科学大学、三菱電機株式会社、株式会社テムザック、延岡市

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

## 【事業名】

「自然といのちを大切にする地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

・採択額 40,369千円

（交付対象事業費 80,738千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置）

横展開型

## 【事業概要】

人口減少の顕著な中山間地域等において、農林業の振興を図るため、狩猟免許取得者を増やすのみならず、デジタル技術を活用して、有害鳥獣が人里に近づかないような仕組みを整備し、地域産業の好循環を生み出すとともに、自然や動物と人間の営みの調和に着目した「里山塾」による人材育成にも取り組み、このような自然といのちを大切にする地域づくりに共感するペット愛好家等の移住や交流人口の増加を図っていく。

また、農業経験のない人でも農業に取り組めるよう、最新の技術を活用したロボット（農地の大小に関わらず市内各地で利用可能なもの）による稲作支援等に取り組み、新規就農者の確保や移住促進を図り、総合的に地方創生を進める。



# 「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

## 事業内容

### 地域課題

- ・中山間地域における、少子高齢化や若者の流出による後継者不足、担い手不足
- ・有害鳥獣による農林作物の被害拡大と狩猟の担い手の高齢化



- ・生産意欲の減少、耕作放棄地の拡大
- ・地域産業の衰退、人口減少の加速化等の負の連鎖

### 課題解決に向けた新たな取組

- ・専門機関等と連携して「里山塾」を開講し、動植物の生態系と人の営みの調和や、捕獲技術等に関する学びの場を提供
- ・超音波スピーカやセンサー、LED照明などのセンシング技術と、複数の忌避音と光の組み合わせなどによる対策や、罠の効果的な設置などにより、鳥獣が集落に近づかない取組を検証
- ・鳥獣捕獲場所等のデータを整備、ビッグデータ化し、効率的な捕獲体制を構築、スマートフォンのGPS位置情報を活用して、捕獲班員の労務を軽減
- ・種まきを行うドローンや、除草、耕作、刈り取りなどを行うロボット（農地の大小に関わらず市内各地で利用可能なもの）を導入し、これらを活用した移住者による稲作を支援

### 地方創生に資する効果

- ・「里山塾」を、全国各地の人々にとっての学びの場とし、またアニマルウェルフェアを重視した地域づくりを推進することによって交流人口を増加
- ・新たな技術による鳥獣捕獲の効率化によって、狩猟者の労務軽減を図りながら、作物被害を効果的に減少
- ・ロボット（農地の大小に関わらず市内各地で利用可能なもの）を活用した稲作支援により、農業経験のない移住者でも農業に取り組める環境を整備して、耕作放棄地の減少と移住を促進
- ・これまでの負の連鎖を断ち切り、新たな好循環を生み出して、持続的で活力のある中山間地域を実現

## ◇具体的な事業内容（案）

（全て単位：千円）

事業名	事業内容	事業費
<b>里山塾・鳥獣害対策事業</b>	<p>○ 国の機関や民間の専門機関等と連携して「里山塾」を実施し、動物の生態系と人間の営みの調和について学ぶ場を提供するとともに、実地研修によって、狩猟者の育成、確保を図るなど、持続可能な里山づくりに取り組む。また、超音波スピーカやセンサー、LED照明などのセンシング技術と、複数の忌避音と光の組み合わせなどによる対策や、罠の効果的な設置などに取り組み、鳥獣が集落に近づかない取組みを検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況確認、ゾーニング調査等</li> <li>・対策機器の開発、設置、効果検証等</li> <li>・「里山塾」開校に係る施設改修、環境整備等</li> <li>・生態系学習、罠仕掛け技術伝承に関する教育カリキュラム、講演会等</li> </ul> <p>○ 鳥獣捕獲場所等のデータを整備、ビッグデータ化し、効率的な捕獲体制の構築を図るとともに、スマートフォンのGPS位置情報を活用し、有害捕獲班員による報告書作成を支援し、捕獲班員の労務軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲データの整理、分析、鳥獣出没・捕獲マップの作成等</li> </ul>	<p>42,836</p>
<b>ロボットを活用した稲作支援事業</b>	<p>○ 稲作において、種まきを行うドローンや、除草、耕作、刈り取りなどを行うロボット（農地の大小に関わらず市内各地で利用可能なもの）を導入し、これらを活用した移住者による取組みを支援することで、移住の促進と耕作放棄地の減少を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種まき用ドローン、除草や耕作、刈取り等を行うロボット等の導入</li> <li>・サーバー管理費、ロボット操作指導等</li> </ul>	<p>36,000</p>
<b>移住定住促進事業</b>	<p>○ 上記の取組みと併せて、移住相談会への出展などを通じて、移住希望者へ延岡市の魅力を発信し、移住定住の促進を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住相談会への出展、移住希望者へのPR等</li> <li>・お試し暮らし施設の管理運営</li> </ul>	<p>1,902</p>
<b>合計</b>		<p>80,738</p>

※各事業の金額や内訳については、総事業費（80,738千円）を上限として変更があり得ます。

## このプロジェクトが目指している目標

### 【目標1】 県外からの移住者数の増加

▶ 「自然といのちを大切にできる地域づくり」を実現していくとともに、有害鳥獣対策を図り、地域産業の好循環を生み出して、移住しやすい環境を整備します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和7年度末）
県外からの移住者数	120人	45人増加

### 【目標2】 人材育成事業「里山塾」の参加者数の確保

▶ 「里山塾」において、動物の生態系と人間の営みの調和について学ぶ場を提供するとともに、実地研修にも取り組み、狩猟者の育成、確保を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和7年度末）
人材育成事業「里山塾」の参加者数	-	150人

### 【目標3】 農作物鳥獣被害額低下

▶ 最新の技術を活用した効果的で効率的な有害鳥獣対策に取り組み、農作物への被害額の減少を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和7年度末）
農作物鳥獣被害額	26,670千円	6,000千円減少

### 【目標4】 新規就農者数の増加

▶ 稲作支援を行うことのできるロボット（農地の大小に関わらず市内各地で利用可能なもの）を導入し、農業経験のない方でも農業に取り組みやすい環境を整備して、移住者による新規就農者の増加を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和4年度末）	目標値（令和7年度末）
新規就農者数	-	15人増加

◇事業計画期間の交付金対象概算事業費（カッコ内は交付金申請額／申請時の見込額）

令和5年度	令和6年度	令和7年度
80,738千円 (40,369千円)	87,752千円 (43,876千円)	77,912千円 (38,956千円)

※総額の概算 246,402千円（123,201千円）

※事業年度ごとに事業内容・事業費を精査しながら国に対して申請する予定